

甲賀市の特色

甲賀市国際交流員
ジュリアン・エイムズ

最近、国際化について多くの方と話す機会が増えて来たのはうれしいことです。その方たちの中で「日本人はもつと海外に旅行しなければならぬ」と言う方がたくさんいます。もちろん海外旅行はすばらしい経験ですが、日本でも国際感覚は身につけられます。国際化は外国の相違点や相

似点を理解し世界を身近に感じることですが、世界中どこも同じ様な場所にするものではありません。自国の特色も分からなければなりません。国際化は多くの外国からいい点を学ぶと同時に自国のユニークな点を守ることです。

長い間甲賀に住んでいる方はもう甲賀市の特色が見えなくなっているかもしれないので私は日本専門家ではないけれど、外国人の立場から見える甲賀市の長所を四つ紹介したいと思います。

一、文化的な所。水口城資料館をはじめ、東海道の宿場や重要文化財、無数の寺や神社があり、甲賀市内どこでも素晴らしい文化に出会えます。

二、安全な所。「日本は安全だ」というのがもう陳腐な決まり文句かも知れませんが、本当にそうです。夜中でも心配しないで一人でどこでも歩けます。世界の中でこんなに安全な所は珍しいと思います。

三、国際的な人口。26000人あまりの外国から来た方が甲賀市に住んでいます。それは全国平均の2.6倍で、甲賀市内の国際化はますます進んでいます。外国のおいしい料理も食べられるし、いろいろな出身の方と話せるので、甲賀市に来てから、私の視野はさらに広がりました。

四、親切な市民。甲賀市民は特にやさしく温かい人だと思えます。平日、西友でお昼ごはん

を食べると、おばあさんにも学生にも挨拶されます。通勤しながら、笑顔でコンビニのしるしに手を振る人に挨拶します。近所の居酒屋ではみんなが私にお酒を入れてくれます。甲賀市の市民が甲賀市の一番大切な長所だと思います。

国際化の最初の一步は、自国、または出身地の価値を認めることです。目の前の特色を探しましょう！



学校、公民館や地域で国際理解を進める教室を行う場合、国際交流員を派遣します。ご要望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

市民生活課コミュニティ推進係
☎65-0687 FAX 63-4582

2005 国勢調査

平成17年10月1日(土)

9月下旬から調査員がおうかがいたします。



あなたの今を
日本の未来へ

今年は
「平成17年 国勢調査」
の年です。

その2

国勢調査のイメージ・キャラクター「センサスくん」

Q 国勢調査はいつから行われているの？

A 日本で最初に国勢調査が実施されたのは、今から85年前の1920年(大正9年)でした。以後、ほぼ5年ごとに行われ、平成17年に行われる国勢調査は18回目になります。

Q ほかの国でも同じような調査をしているの？

A 統計の作成を目的とした調査は日本だけでなく、アメリカ合衆国、中国、韓国、イギリス、カナダ、オーストラリアなど、世界の多くの国・地域で行われています。

また、国内の各行政に利用するだけでなく、諸外国と比較することが重要だという国際的な視点から、国際連合では、1950年から10年ごとに「世界人口センサス」計画を推進し、世界各国に協力を呼びかけています。

Q 調査の方法は？

A 9月下旬から国勢調査員が国内の全世帯を訪問して調査票を配布し、10月1日現在の状況を調査票に記入していただきます。そして10月上旬に国勢調査員が再び世帯に訪問して調査票を回収します。

10月1日午前0時現在で国内に居住しているすべての方が調査の対象になります。外国の方も含まれます。

次回は、国勢調査員や結果の利用についてお知らせします。

【問い合わせ】 企画政策課
☎65-0670 FAX 63-4554